

令和5年度 陵ヶ岡小学校の教育

1. 学校教育目標

**自ら探究し、つながり合い、未来を拓く陵ヶ岡の子
～探究力・人間力・自分力(3Motto)を育む陵ヶ岡教育の創造～**

2. 花山ブロック小中一貫目標

自ら未来を切り拓き、地域・社会と共に歩む子どもの育成

3. めざす子ども像

**「探究力」「人間力」「自分力」
“3Motto”で未来を自分で切り拓く子どもたち**

探 究 力

～自ら探究し、発信する子～

- 主体的に学び探究し、対話を通した協働で、深い学びを実現する。
- 基礎学力の定着・言語活動の充実。
- 自分の学びと社会とのかかわりを繋ぎ、活用する。
- 数学的思考力・情報活用能力・実践的英語力を伸ばす。
- 図書館を活用し、読書活動を促進する。

人 間 力

～協働し、つながり合える子～

- 規範意識をもち、「主体的」に行動する。
- 友だちとの関わりの中で、互いの「生き方」の違いを認め合い、協働し合い「自立」する。
- 好ましい人間関係を形成するために、他人の立場を「想像」し、感情を分かち合う能力を身に付ける。
- 「いじめ」に気づき、許さない心をもつ。
- 地域と自分とのつながりを見つける、地域の一員として活動する。

自 分 力

～自分や他人を大切にする子～

- 自分で決定する力をもち、自分の未来を主体的に切り拓こうとする。
- 自分の役割見つけて、みんなのために働くたくましい心をもつ。
- 自ら判断して、学校や地域での危険を予測し、命を守る適切な行動ができる。
- 基本的な生活習慣を身に付け、健康に過ごすために進んで運動する。
- 心身の健やかな成長を阻害する事柄について正しい知識をもち、自分で判断して毅然とした態度で身を守る。

「育成を目指す資質・能力」の具体化

- 探究力…自ら課題を見つけ探究する力、「自分の学び」と「他者や地域、教科の知識・技能を「つなぎ」創造する力、すべてを支える言語力
- 人間力…「ゆるやかな協働」の中で依存し合いながら「自立」する力、相手の立場を「想像」し感情を分かち合う能力、合意形成する力
- 自分力…「自己決定」する力、自分の将来を拓く力（キャリア）、友だちも自分も大切にする力（自尊感情）、自分の活動を自分で理解し律する力（メタ認知・自己有用感・自己指導能力）

4. めざす教職員像

陵ヶ岡小学校の学校運営に一人一人が「主体的」にかかわり、 進んで学校改革、授業改善に取組む教職員

～陵ヶ岡のチーム力を高めるために～

- 「主体的」に学校運営に取組み、自ら発信しマネジメントする。
- 常に人権感覚を磨き、一人一人を徹底的に大切にし、子どもの自尊感情を高める取組を実践する。
- 3 Motto を授業改善の柱として、深い学びを目指した取り組みを進める。
- 「中学校ブロック連携教育」を目指し、9年間の「学力」形成に協働して取り組む。
- 保護者や地域と協働・連携し、信頼される教育活動を進める。
- 「自己決定力」を養い、日常的に危険を予測し、子どもの安全と安心を確保できる行動をとる。
- すべての取組において指導の徹底と継続を行う。

5. めざす学校像

子どもたちが互いの違いを認め合い、自らの行動を自分で判断し、 自分の未来を自分で切り拓く確かな「学力」を追究する学校

- 「子どもが『わくわく』する学校」
 - ・主体的に学び探究する喜びを感じる「授業」がある。
 - ・協働を通して学び合い、高め合う「学びの集団」がある。
 - ・子どもの特性に応じた支援の充実をはかる。
 - ・一人一人が力を発揮し、認められる場がある。(自己有用感・自尊感情)
- 「保護者が通わせたいと思う学校」
 - ・保護者の思いや願いを常に汲み取り、実践に活かす。
 - ・子どもの命と人権を守り切り、一人一人を徹底的に大切にしている。
 - ・確かな「学力」の向上と家庭と連携した学習の取組がある。
- 「教職員が生き生きと働く学校」
 - ・教職員の多様性を認め合い、お互いに理解しようとする同僚性を持つ。
 - ・全ての教職員がリーダーとなり、それぞれの持ち場で十分に力を発揮できる。
 - ・全ての教職員が「同じ目線」をもち、「同じ路線」で子どもたちを導くことができる。
 - ・常に情熱を持ち、協働して教育活動を推進できる。
- 「地域が応援したいと思う学校」
 - ・「子どもは地域で育つ」：子どもと地域の「つながり」を常に意識する。
 - ・規範意識をもち、あいさつや感謝の気持ちが伝えられる。
 - ・地域を思い、地域の未来を考えて子どもたちの取組を地域に発信できる。
- 「中学校ブロックでつながり合い共に学んでいく学校」(コネクトプロジェクト)
 - ・「小小連携」「小中連携」を推進し、教職員も子どもたちも地域の一員としてつながりあうことができる。(3校一体型「学校運営協議会」)
 - ・教職員の交流、子どもたちの交流活動を創造し、「学力」向上に向けて協働して実践を進めていく。